

二宮町下水道事業中期経営計画

中間報告

平成27年10月

二宮町都市経済部下水道課

目 次

1	下水道事業の現状	1
2	事業運営の基本方針	2
	（1）計画の位置づけ	
	（2）計画の期間	
	（3）事業運営の目標と達成状況	
3	事業計画と達成状況	3
	（1）財政収支計画	
	（2）中期指標	
	（3）主要整備計画	
	（4）投資計画	
4	経営基盤強化への取組による効果	6
5	計画達成状況の公表	6
	（1）公表の方法等	
	（2）公表の内容	
	用語解説	7

平成25年3月に策定した二宮町下水道事業中期経営計画（計画期間：平成25年度～平成28年度）の達成状況について、平成25、26年度の決算に基づき、次のとおり中間報告します。

1 下水道事業の現状

本町の下水道は、酒匂川流域関連公共下水道として、平成2年に都市計画法及び下水道法の事業認可を取得し、平成3年から工事開始、平成11年4月には酒匂川流域下水道川匂ポンプ場の完成と同時に川匂・山西地区の一部が供用開始となりました。

平成26年度末の整備済区域面積は377.9haとなり、人口普及率は84.6%、水洗化率は73.4%となっています。

汚水幹線整備は、山西汚水幹線を残し概ね終わり、市街化区域の面整備を優先して下水道処理区域の拡大と水洗化の促進を行っています。

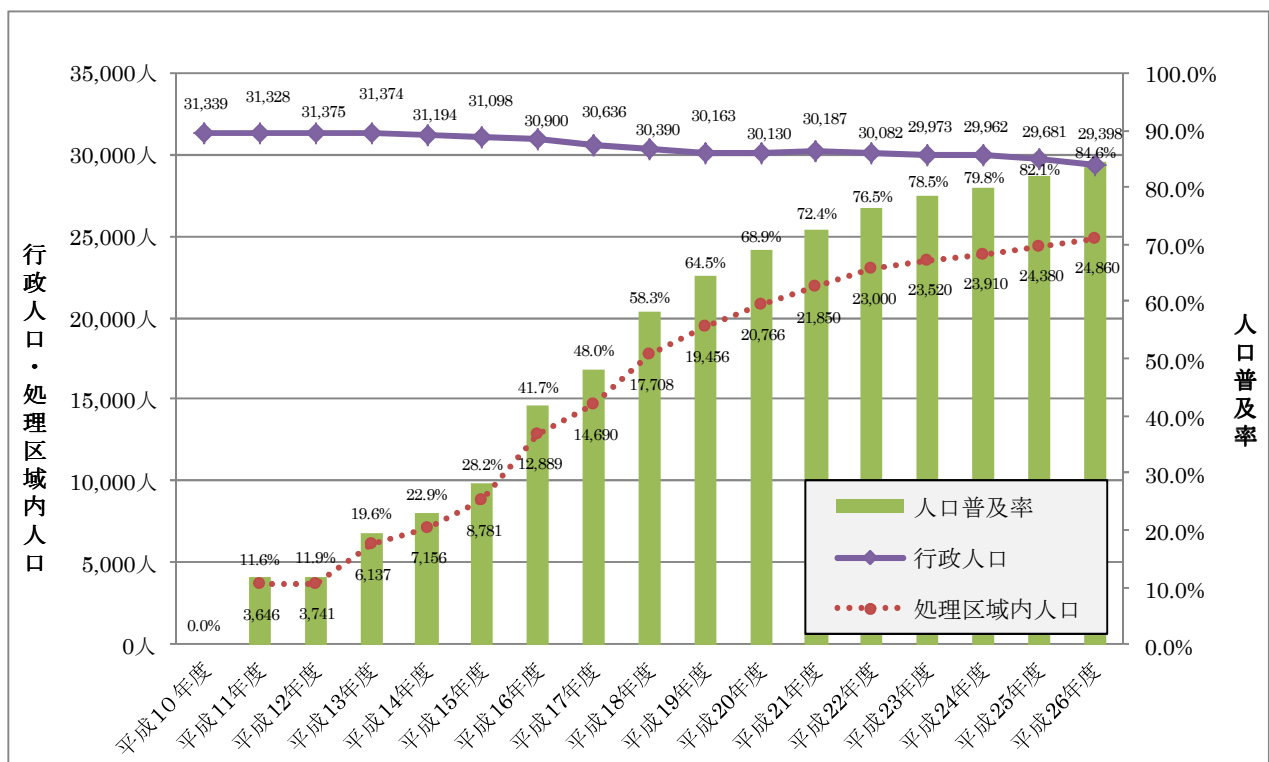


図1 行政人口、処理区域内人口及び人口普及率の推移

2 事業運営の基本方針

(1) 計画の位置づけ

本計画は、これまでに策定された行政改革大綱や集中改革プラン、公的資金補償金免除繰上償還に係る経営健全化計画等を踏まえて、下水道経営の健全化・効率化を図ると共に経営基盤を強化するための計画とし、平成22年度に策定した「二宮町下水道中期ビジョン」の実現を目指して、下水道事業の中期的な経営方針及び事業計画を示したものです。

(2) 計画の期間

計画期間は、平成25年度を初年度とし、平成28年度までの4年間とします。

(3) 事業運営の目標と達成状況

経費回収率が目標値を上回った理由は、近年、国からの交付金が減少されたことにより整備面積が縮小したことに伴い、起債額（使用料対象経費のうち資本費にあたる部分）を縮減したことにより、使用料収入で賄うべき汚水処理費が少なくなったことによるものです。

しかしながら、依然として本来使用料収入で賄うべき使用料対象経費（汚水処理費）のうち、資本費の半分以上を一般会計からの繰入金に依存しているため、引き続き使用料の適正化など経営基盤強化に取り組みます。

項目	平成23年度 (実績)	平成26年度 (中間報告)	平成28年度 (目標)
処理区域内人口	23,520人	24,860人	25,350人以上
人口普及率	78.5%	84.6%	85%以上
水洗化率	71.2%	73.4%	75%以上
経費回収率	48.9%	70.8%	55%以上
町債残高	69億円	65億円	63億円以下

3 事業計画と達成状況

(1) 財政収支計画

① 収支計画

(単位：千円)

項目			23年度	24年度	25年度	26年度
収 入	受益者負担金 (H25より分担金を含む)	計画		33,873	9,069	16,162
		実績	26,751	34,924	13,245	15,674
	下水道使用料 (手数料を含む)	計画		212,122	226,319	236,691
		実績	182,516	216,512	232,240	235,212
	国庫補助金	計画		70,700	120,000	105,000
		実績	90,000	70,700	95,800	114,000
	一般会計繰入金	計画		348,658	370,927	399,682
		実績	342,124	343,038	365,628	379,821
町債	計画		156,800	254,700	203,200	
	実績	167,100	152,400	176,500	219,200	
その他	計画		18,083	15,336	5,438	
	実績	25,062	17,707	25,401	17,646	
合計	計画		840,236	996,351	966,173	
	実績	833,553	835,281	908,814	981,553	
支 出	維持管理費	計画		176,542	191,389	191,796
		実績	163,698	173,079	182,132	181,987
	整備事業費	計画		198,010	326,987	271,356
		実績	216,264	186,923	235,431	289,740
	公債費	計画		450,864	477,975	503,021
		実績	435,884	456,156	476,417	494,682
	合計	計画		825,416	996,351	966,173
		実績	815,846	816,158	893,980	966,409

② 起債残高

(単位：千円)

項目		23年度	24年度	25年度	26年度
町債元金 残高	計画		6,830,362	6,765,588	6,624,116
	実績	6,926,101	6,785,662	6,642,687	6,517,670

(2) 中期指標

水洗化率は、平成26年度末現在で計画に達していません。また、大型店舗や一般家庭の節水により、年間有収水量が平成26年度に初めて減少に転じました。

今後も人口減少や節水志向による排水量の低下に伴う有収水量の減少が見込まれるため、引き続き地区説明会やイベント会場でのPR、供用開始の通知文書のポスティング、下水道整備済区域の未接続世帯に対する戸別訪問による接続勧奨を実施し、水洗化率の向上及び年間有収水量の増加を図り、計画達成に努めます。

項目		23年度	24年度	25年度	26年度
人口普及率 (%)	計画		79.5	81.3	82.0
	実績	78.5	79.8	82.1	84.6
水洗化率 (%)	計画		73.3	73.6	74.0
	実績	71.2	72.6	73.1	73.4
使用料単価 (円/㎡)	計画		123	130	130
	実績	108	124	131	134
汚水処理原価 (円/㎡)	計画		226	242	238
	実績	221	191	190	189
経費回収率 (%)	計画		54.4	53.7	54.6
	実績	49.1	64.8	68.9	70.8
年間有収水量 (千㎡)	計画		1,725	1,741	1,821
	実績	1,686	1,746	1,772	1,752

(3) 主要整備計画

No	事業名		事業期間	事業概要
1	山西汚水 幹線整備	計画	25年度、27年度	事業計画区域の拡大により、越地・釜野・百合が丘1丁目地区への接続に向けて汚水の幹線管渠の整備を行います。
		実績	25年度、26年度	平成25年度及び26年度に越地・釜野地区（一部）を整備しました。
2	汚水枝線 整備	計画	25年度～28年度	収入基盤強化のため枝線管渠の整備を行います。
		実績	25年度、26年度	平成25年度に越地・釜野・百合が丘1丁目・北新道地区、26年度に越地・釜野・百合が丘2丁目地区を整備しました。
3	雨水浸水 対策	計画	25年度、26年度	北新道地区の浸水対策として、雨水管渠の整備を行います。
		実績	同上	平成26年度に完成しました。

(4) 投資計画

(単位：千円)

No	事業名		25年度	26年度
1	山西汚水幹線整備	計画	180,000	—
		実績	52,447	102,060
2	汚水枝線整備	計画	42,000	205,000
		実績	94,531	124,545
3	雨水浸水対策	計画	95,000	50,000
		実績	81,375	47,368
合 計		計画	317,000	255,000
		実績	228,353	273,973

4 経営基盤強化への取組による効果

収入の水洗化率の向上は、下水道接続件数の増加による使用料収入の増加額を実績としました。なお、支出の工事コストの削減については、計画の事業費に大幅な変更が生じ、縮減効果の達成率を算出することが困難であることから、決算額を掲載しました。

(単位：千円)

項 目			25 年度	26 年度
収入	水洗化率の向上	計画	2,900	1,300
		実績	3,120	2,212
支出	工事コストの削減	実績	94,531	124,545

5 計画達成状況の公表

(1) 公表の方法等

最終報告は平成29年10月頃に、町ホームページ等で公表します。

(2) 公表の内容

中期経営計画に示した計画数値と実績値を比較した達成状況を報告します。

用語解説

用語	解説
起債	公共下水道を整備するために必要な財源の不足分を、年度を越えて長期（1年以上）に借り入れるお金のこと。
人口普及率	下水道事業の進捗を表す指標。 下水道を利用できる区域内の人口÷行政人口
水洗化率	下水道を利用できる区域内の人口に対して、下水道に接続している人口の割合を表す。
有収水量	下水道使用料の対象となる水量
使用料単価	1 m ³ の汚水に対し、いくら使用料を徴収しているかを表す。 使用料収入÷年間有収水量
汚水処理原価	1 m ³ の汚水をいくらの経費で処理しているかを表す。 汚水処理費÷年間有収水量
経費回収率	汚水処理にかかる施設の維持管理費や資本費が、どれだけ使用料で賄われているかを表す。 使用料単価÷汚水処理原価